みいけ主婦会

※原稿送り先―大牟田市不知火町2
三池炭鉱主婦会
※電話で知らせるとき―市内3033・7140　炭鉱　474・528
※責任者　組織部長　渋田一恵

輝かしい主婦会十年の歴史

盛大に十周年の行事

最終日には敬老会もひらく

三池主婦会結成十周年の記念式典は十月十三日、午前十時から市民会館に会員、来賓多数出席のもとに盛大にそして意義深く行なわれました。思えば苦難の中から結成して、斗いの連続のこの十年、主婦会は大きな成長をみせて記念式典を挙行しました。このあと十五日まで昼夜に分れて五回、記念行事を華やかにひらき、最終日の十五日は七〇才以上の老人七〇〇余名を招いて敬老会を行なうなど、十周年記念にふさわしい盛大な行事となりました。

六三日ストのあと会社の激しい弾圧にめげずついに結成をかちえたときから十年、全く主婦会のたどった道はイバラの道の連続でしたこの十年の輝かしい足跡を称賛するかのように、会場に当てられた市民会館は華やかに飾りつけを終り、各団体から贈られた祝賀の花環が並び、開場が待たれました。会場入口には重態が伝えられている三作の荒木栄さんへの激励の寄せ書き「荒木さん早くよくなって下さい」書いた赤旗がおかれ、主婦たちは祈るような目なざしで署名していました。

午前十時すぎ、組合歌の音楽で正面の垂れ幕が静かに上げられ、式典の幕があげられました。

壇上には右側に来賓、左側に主婦会役員、各組合の主婦会来賓がずらりとならび、来賓の中には向坂先生や水俣、高千穂労組の主婦たちの鉢巻姿が目を引きました。

南場副会長の開会の挨拶のあと、五島会長が挨拶に立ちその最後に「本日を契機としてさらに励まし合いながら、組合とともに頑張り抜きたいと思います」とこんごの固い決意を述べました。

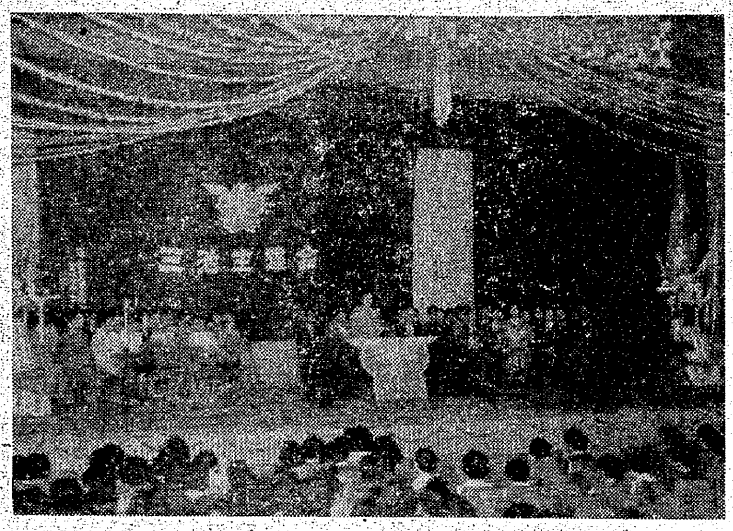
ここで本所支部婦人部から会長へ花束贈呈があり、会場の拍手の中で花束がおくられました。

このあとメッセージが宮川組合長、原口福炭婦協副会長（炭婦協代表）清原福岡県評教宣部長（総評代表）風斗大地評次長（大地評、荒地評代表）向坂教授（社会主義協会代表）江口水俣主婦の会、長谷川（社会党代表）永江（共産党代表）の各氏からおくられました。

つづいて組合執行部、政治局員の自己紹介があり、祝電披露のち、古賀事務局長から「私たちの歩み」と題して主婦会十年の経過が述べられましたが、とくにその中で児童の作文が読みあげられ、式典に参加した主婦たちの胸を強く打ちました。

さいごに結成時に三川支部長をつとめた橋本さんが結成当時の苦しい状態とそのあとき た一一三日斗争での主婦会の活動ぶりを切々と述べ、こんごの組織強化を強く訴えました。

以上のような経過をたどって記念式典はとどこおりなく終了し、全員「炭婦協のうた」を合唱して、主婦会十年の歴史を喜び合い、さらにこんごの活動強化を誓い合って終了しました。



―来賓多数を迎えた十周年の記念式典会場―

自労と共斗を

三川　一主婦

九月二十七日、荒尾自労の婦人部集会が大映劇場でひらかれました母親大会の報告会ということで案内をいただき、出席したのですが失対打切り反対の決起大会に切りかえられました。

私はこの大会で、いまの三池の実態を訴えたのです。ひどい差別と労働強化、三井の悪どい一万五千トン体制の重労働のために就労後二十九人の命が奪われた。こういう中にあって三池の主婦は内職をしても、労働者の良心を守って頑張り抜いている。もっと搾取されしいたげられた私どもの通じ合う心と一二〇〇名の仲間がお世話になります、と挨拶をおくりました。

失対打切り反対、民主教育を守り三先生の無罪をかちとれ、また三池については差別をやめろ、労働強化に抗議するという抗議電報を若林所長あて打ってくれました。

対決見聞

夜五回の熱演

式典にひきつづき午後一時から第一回の公演がはじまりました。これから三日間にわたって出演する主婦たちは、それぞれ連日の内職の疲れの合間を、今日のために一生懸命に練習を励んでいたものです。

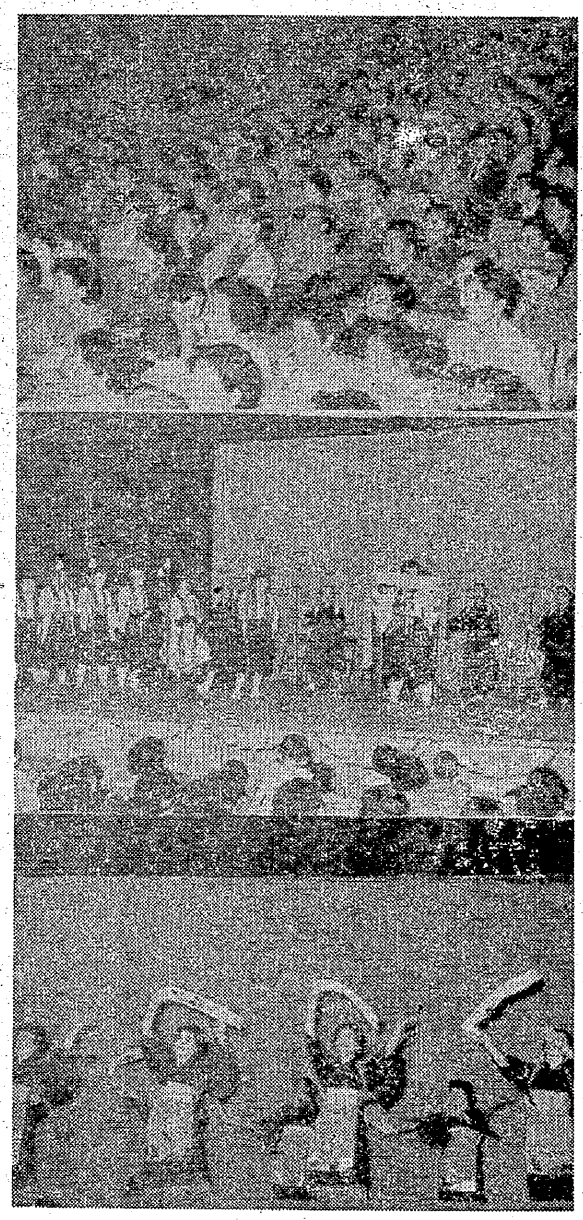
公演のプログラムは、四山支部のコーラスを皮切りに、踊りあり寸劇ありとなかなかバラエティにとんだ出しもので、約五時間におよぶ全部で二十二種目にわたって熱演をくりひろげました。

練習も十分でなかったのに、さすが団結の力を発揮して踊りも劇とも見事なもので、観客席からはプログラムがすすむごとに「上手ねィ」とさかんに賞賛の声がささやかれていました。

舞台に出ている仲間への声援もしきりにとび、全く出演者と観客が一つに触合った中ですすめられ、拍手の休む暇さえありませんでした。

各劇にもさすが主婦会の出しものらしく見事な風刺を効かせて、会社や独占資本に痛撃を浴びせ非常に好評をうけました。

組合本部と主婦会執行部も合同で出演、宮川組合長の佐渡おけさ、木曽節の独唱や、古賀就対部長の王将など、思わぬ喝をきかされてつめかけた主婦たちは大喜びでした。



（上）三日間満員の会員席（中）三川支部新港分会の勧進帳（下）本所支部の踊り

四山支部の寸劇・物価値上げ反対

宮浦支部の劇・良心

港務のオラトリオ・ごんぞう

大喜びの老人たち

最終日の十五日の午前の部は七〇才以上のお年寄り七〇〇余名を招いて敬老会がひらかれました。この日、すっかり冷えこみ老人たちにはどうかと心配されたが、主婦の熱演に大喜び、さいごには舞台に老人たちも耐りきれず飛び出して一緒に踊るありさまで、全種目が終ってもなごり惜しそうに席をなかなか立とうとせぬので、係の方で慌てるなど、従来の敬老会には見られぬほどの盛大で充実したものでした。

判決を終って

四山　尾田恒子

（九月二十四日福岡地裁で行われた刑事三部判決について、四山支部尾田支部長からつぎの原稿が寄せられました）

▲　▲

刑事三部裁判に主婦会関係をふくむ二十四名の被告の方々のため裁判当初から特別弁護人の指定を受け、全力をつくしてきましたがおききの通りの判決の結果となりました。私自身心外にたえません

そして権力に屈し、会社と第二組合を擁護して三池労組、主婦会を弾圧する判決といわねばなりません。

二十四名の被告のためと、大衆行動の正しさを守り通すために、高裁では法廷斗争をなお一層強力におしすすめ、外部に対しても真相を訴え、大衆の支援をより強化し全員無罪をかちとらねばならぬと固く誓っています。

わが家の自慢料理

副会長　南場キソノ

自慢のつけもの

秋の訪れとともに魚も野菜など実りの秋らしく豊富に出はじめました。毎日の食事になくてはならぬものの一つとして、つけものがあります。私の家では一年を通してヌカミソをつけています。美味しく便利で栄養もあり、見た目も美しく、食事が楽しくできます。

【どこの作り方】

一斗たるにヌカ六キログラム程度を入れ、米のとぎ汁にてミソほどの固さにときます。その場合塩は五〇〇グラムほどでよいと思います。このとき、かんざましでもあれば結構です。味がぐっとよくなります。

【つけ方】

つける品物は、なす、きゅり、しょうが、大根、キャベツ、小かぶなどが美味しいと思います大根は葉も一緒につけます。このほか季節の野菜を何でもつけることができます。

【つけるときの注意】

材料をヌカミソに入れるとき必ず塩を少々入れること。つけものの味が悪くなった場合は重ソーまたはビオフエルミンを入れるとよくなります。一度おためし下さい。

大根の葉は、こまかく切り、温かいご飯にかけていただくと子どもたちに喜ばれます。